

KIFA Report

河内長野市国際交流協会

Vol. 111

Oct. 2019



河内長野市・
市教委主催の
英語村フェスタ2019
Enjoy! Cooking

- 溝畑 宏氏 特別講演会
～河内長野を元気にする秘策とは?～
- 河内長野版英語村 TREK
- 世界とつながろう!
- 英語村フェスタ Enjoy! Cooking

- インフォメーション
World Potluck 世界ごった煮 2019
- コンニチハ! 日本語サロンです
- 姉妹都市提携 25 周年



特別講演会 ～河内長野を元気にする秘策は？～

6月22日（土）市民交流センター イベントホール

公益財団法人大阪観光局理事長の溝畑 宏氏を講師に迎え、「河内長野を元気にする秘策は？」というタイトルでお話をいただきました。溝畑氏は、大阪・関西万博誘致でも活躍された方です。河内長野市が施策として観光客の誘致を掲げていることもあり、市民の関心も高く、大勢の皆様が集まりました。大阪は1時間あれば、京都、奈良をはじめいろんなところに行けるという、関西エリアの中心に位置しています。関西エリアには、国宝や重要文化財の60%が集まっていることもあり、観光資源にも恵まれており、関西を起点にして観光に訪れる外国の方も増えてきています。河内長野市が「日本遺産」に認定され、関心も高まってきています。そこでカギになるのが「受け入れ態勢の整備」です。国際交流協会としては、河内長野市を活性化するにあたり、訪日・在住の外国人に、どうすれば河内長野市の魅力を伝えることができるかということを考えるきっかけになればということで、この講演会を企画しました。溝畑氏はいろいろな活動を通じて、講演会を聴きにこられていた島田市長とは旧知の仲ということでお話は盛り上がりました。

外国の方々には日本の何を魅力に感じて日本を訪れるのでしょうか？ 日本の文化、四季、美しい自然、そして安心・安全だそうです。幸いにして河内長野にはすべての魅力が備わっています。溝畑氏がいろいろな場所でお仕事をされて感じたことをお聞きしました。魅力のある場所というのは、住んでいる人が自分の町や市が大好きなところだということです。目新しい箱ものに魅力を感じるのではなく、住人が自分の住んでいるところに対して持っている愛情が魅力となります。私たちも美しい自然、歴史的遺産など、河内長野の魅力を再発見してアピールしていくこと。行政になにかをしてもらおうと期待するのでは

なく、自分たちの立場で、自分たちのことができることから動き出すことが必要だということです。

長い間、河内長野に住んでいても、まだ行ったことのないところ、知らないことが沢山あります。宝の持ち腐れにならないように、もっともっと河内長野のことを知って魅力を発信していきたいと思います。



溝畑 宏氏



夏休み子ども絵画教室

8月6日（火）市民交流センター 創作工房

～アートでつながろう姉妹都市のキッズたち～



今年のテーマは
「日本の四季」



夏休みの猛暑の中、創作工房に19人の元気な小学生が集まりました。河内長野の姉妹都市、アメリカのカメル市に贈る絵を描くのです。「世界一小さい子ども美術館」に展示されるのでみんな張り切っています。

初めにスライドショーでカメル市の日本庭園、市役所、美術館など街の様子を見てもらいました。

絵の指導をしてくださるのは、いつもお世話になっているNPO 法人アートコミュニティの船本礼子先生をはじめ3人の先生方です。今年のテーマは、日本人が心の中で一番大切にしている「日本の四季」です。子どもたちに四季のイメージを聞くと春は桜、入学式、チューリップ、夏は蝉、ひまわり、夏休み、秋はもみじ、いちよう、冬は雪ダルマ、枯れ葉と次々と手が上がります。

参加者は4班に分かれ、代表者が出て四季のカードを引き自分たちの描く季節を選びました。先生から河内長野の四季の写真を見せてもらい、自分が描く思いとあわせていきます。4色に塗り分けられたキャンバスボードの好きな色を選び、アクリル絵の具、ペーパーパレット、ヘラなどの使い方を教えてもらい描き始めました。

春班は桜や市内の名所、夏班はスイカやカブト虫、秋班は紅葉や神社、冬班は金剛山や雪景色など描き始め、工房の中は熱気であふれます。スタッフは熱中症にならないように気を使い、子どもたちも水分補給しながら熱心に描いていきます。「出来ました～！」と言っていた子供たちも、船本先生のちょっとした「魔法の言葉」でもう一度手を加えると絵が生き返ったようにキラキラと輝いてきました。「かっこいいな、その描き方、芸術家やね。」と声をかけられて、立ったり座ったりして自分の絵を見つめなおして仕上げました。

最後に船本先生から全員の絵の講評をしてもらい、みんな満足した芸術家の顔になり、拍手で終了しました。



世界とつながろう！



8月23日（金）
市民交流センター 大会議室



8月23日に市民交流センター（キックス）で「夏休み子ども教室」が開催されました。マジックショー、ゲーム、絵本の読み聞かせ、工作、料理、アート、流行りのハーバリウム、プログラミング教室など、多彩なプログラムが用意されていました。KIFAは、「世界とつながろう！」のコーナーを担当です。

今年の「国」は、韓国、フィリピン、ベトナム、ペルー、インドネシア、中国の六カ国。それぞれのブースでは、各国出身の方たちが、国旗や民族衣装などを飾ったり、母国の風景や料理などの写真や、子どもの遊びを紹介する小道具などを準備しています。

子どもたちはインスタントカメラで撮った写真を貼った赤い特製パスポートを手に、3人ずつのグループで、各国のブースを回っていきます。まずは、「こんにちは」「ありがとう」「さようなら」をその国の言葉で習います。「ペルー語というのはないのよ。ペルーではスペイン語を話します。」「フィリピンでは、目上の人を尊敬するから、話すときも尊敬の気持ちを込めて話します。」など、普段耳にしない話題に興味がかかります。「韓国にはどんなスポーツがありますか？」「サッカーとか野球とか、日本と一緒によ。」「そうじゃなくて、韓国だけのの？」「テコンドーは韓国のスポーツです。日本の空手に似ています。」「この料理は、家でも作れますか？」「材料は日本でもスーパーで買えますよ。」など、質問も色々出ました。

インドネシアのブースでは、民族衣装を着せてもらって記念写真に収まるシーンもありました。中国ブースでは、「ピーターパン」「長靴をはいた猫」など色々な有名な子ども向け作品の

中国語版の絵本がたくさん紹介されて、文字は読めなくても内容がわかります。中国の子どもたちも、やはり同じようなストーリーを子ども時代に読むのですね。ベトナムのブースでは、世界遺産に登録されている美しい景色や、美味しそうな料理を写真で紹介していました。民族衣装のアオザイも美しい！

ブース巡りが終わったら、フィリピンの「シャギシャギ・ポッポ」というゲームをしました。輪になって、隣の人が「シャギシャギ・ポッポ」の掛け声とともにするジェスチャーを真似して次の人に伝えていくのですが、それをまず理解するのが難しい。リズムに乗って実際にやるのはもっと難しい。うまくいかなくて、あちこちで笑い声が絶えません。

最後に各国ブースの担当者とその国のあいさつを交わしながらハイタッチで、楽しい世界旅行は終わりました。短い時間でしたが、世界への窓が大きく開かれたひとときでした。



英語を話すって楽しいよ！

8月4日(日) 市民交流センター 大会議室

市内の小学生が生きた英語を体験できる、河内長野版英語村「TREK」。今回は、8月4日開催回の様子をご紹介します。講師は、カナダ出身のマーク先生と、アイルランド出身のエイドリアン先生です。午後1時30分からは3・4年生クラス、午後3時からは5・6年生クラスの二部構成でした。

3・4年生クラスの一つめのテーマは「color - 色 -」。red、blue、green といった色の単語を声に出して練習したあと、色を使ってBINGOゲームをしました。

“What color is it?”

“It’s red.”

ゲームを通して楽しくフレーズが身につくそうですね。

二つ目のテーマは「animal - 動物 -」。elephant、panda、monkey など、動物園の動物の名前を英語で発音しました。ちょっと難しかったのが、「rhino - サイ -」かな？

続いて、4つのチームに分かれてゲームをしました。動物のカードを早く集めたチームが勝ち。「Do you have a blue lion?」と、みんな元気に動物たちを探し回りました。

5・6年生クラスのテーマは、「Months and Dates (-月と日付-)」。これは小学校でも教わる単元で、もう習った人は良いおさらいになりますね。ネイティブの先生たちの発音に合わせて「January (1月) ~ December (12月)」を練習したら、各月のカードを机に広げてKARUTAゲーム。

“What month is it?”

“It’s August!”

みんな元気よくカードに手を伸ばしました。

月の後は、日付の英語です。日付は、数字の後に「th」をつけるのがポイント。ただし「1st, 2nd, 3rd」は例外なので、先生がカレンダーのその部分を黄色くマークしてくれていました。月と日付の英語を覚えたら、今日の日付や誕生日を英語で言えるようになりますね。最後はみんなで立ち上がって、お互いの誕生日を聞いて回りました。

“When is your birthday?”

“My birthday is ○○.”

自分の英語が通じたとき、相手の英語がわかったとき、みんなの顔が輝きます。

お友達や先生とたくさん英語で喋った子どもたち。みんなとても頑張りました！

小学校で英語を学ぶ「令和時代」。河内長野版英語村「TREK」は、子どもが英語に触れるもう一つの機会であることを感じた一日でした。



エイドリアン先生



マーク先生



8月4日のクラス



7月7日のクラス



マイク先生

デイヴ先生

英語村フェスタ2019 Enjoy! Cooking

Let's make pancakes!

パンケーキを作ろう!



8月25日(日) 市民交流センター 食工房

夏休み最後の日曜日。河内長野市・市教委主催の英語村フェスタ2019 が開催され、KIFA は、子どもたちが外国人と一緒にパンケーキを作って楽しむエンジョイ! クッキングのイベントに参加しました。

参加してくれた皆さんは小学3年生から6年生の19名。ちょっぴり緊張気味に6名の外国人の先生とご対面。先生は、アメリカ出身のジェイクさん、フィルさん、ダニサさん、カナダ出身のマクラウドさん、韓国出身の金チョンスックさん、フィリピン出身のネリーさん。

「今から日本語はダメ。全部英語で。」という指示のもと、5つのグループに分かれて、いよいよエンジョイ! クッキングのスタートです。

まず先生が、パンケーキの材料や調理器具、手順を英語で説明していきます。子どもたちは配布された写真入りのレシピを見ながら聞き入っています。ミルク、シュガーにうなずいていた子どもたちも小麦粉のフラワー (flour) には「ん?」という表情。どうしても「フラワー (花)」を想像してしまうんですね。

最初は先生のパワフルな英語の発音にちょっと戸惑っていた子どもたちもだんだん目が輝いてきます。聞き取れる単語と先生のアクションでちゃんと話が通じています。さすがにアメリカンジョークは理解できなくて、スタッフがこっそり日本語で解説します。

わいわい、がやがや、やっている間にパンケーキが焼きあがりました。自分たちの好きなトッピングをして、個性豊かなパンケーキの完成です。みんな揃って、おいしくいただきました。

もちろん食べ終わった後の片づけもみんなて手分けしてバッチリです。最後にみんな揃って記念撮影。夏休みの楽しい思い出がひとつ増えました。



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
10月	Oct	6・13・20・27	1・8・15・29	3・10・17・24
11月	Nov	10・24	5・12・19・26	7・14・21・28
12月	Dec	1・8・15	3・10・17	5・12・19

<開講場所と時間>

日曜日 Sundays 14:00~16:00

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00~11:45

市民交流センター (KICCS) 3階

木曜日 Thursdays 18:00~20:00

ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラス スケジュール

コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)
時間		14:00~15:30	19:00~20:30	19:00~20:30	19:00~20:30	14:00~15:30
開講日	10月	12	8・29	1・15	4・18	2・16
	11月	9	12・26	5・19	1・15	6・20
	12月	21	10・24	3・17	6・20	4・18

■多文化の部屋 ～カーメルの今～



河内長野市の姉妹都市、アメリカ インディアナ州カーメル市は、市街地の開発、ビジネスの誘致、ラウンド・アバウト交差点や、世界水準の文化・コンサートホールの建設などでめざましく発展してきています。「アメリカで最も住みやすい街」に選ばれるなど、街づくりの面で、参考になることがありそうです。

今年、姉妹都市提携 25 周年記念を迎え、姉妹都市を訪れたお二人に、カーメルの「今」を伝えていただきます。

- 講 師：柴理梨亜さん、榊村博子さん
- 日 時：10 月 12 日（土）10:30～12:00
- 場 所：市民交流センター 3 階 会議室 2
- 参加費：無料 ○定員：先着 30 名
- 申込み・問い合わせ：電話かメールで事務局まで

■日本語サロン 公開スタッフ研修の予告とご案内

わが国では労働者不足を補うため、海外からの労働者を迎えやすくする法律を 2 つ成立させました。「改正出入国管理法」と「日本語教育推進法」です。私たちにも大きく影響するこの 2 つの法律を分かりやすく学ぶため、

1 月 25 日・2 月 1 日の 2 回に分けて研修を行います。詳細は次号でお知らせしますが、皆様楽しみにお待ちください。



食べる、買う、観る、体験するなど色々な国のフースで楽しむ1日

World Potluck 世界ごった煮 2019

2019年12月1日（日）11:00～15:00
市民交流センター（キックス）

<3つのお願い>

①スタッフ募集

市民交流センター 3 階 4 階を貸し切つての大きな国際交流多文化共生イベントです。スタッフとしてあなたの力を貸してください。

②フリマ用品募集

国際フリーマーケット部門でたくさんの物品が必要です。国際交流イベントですので海外の物がベストですが、日本の物でも結構です。事前に物品内容をお知らせの上、ご提供ください。（物品内容により、お断りすることがありますことをご了承ください。）

※受け取れない物品例：衣料品、生もの、生き物、節句人形、すごく大きい物など

③ちらし配布協力

ちらしをご近所に配って下さる方大歓迎です。

以上 事務局にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

★事務局からのお知らせ★

年末年始休暇は、
2019年12月27日（金）～
2020年1月4日（土）

※日・祝・月曜日定休のため、
仕事始めは1月7日（火）から

コース		スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間		19:00～20:30	13:00～14:30	10:40～12:10	15:00～16:30
開講日	10月	4・18	9・23	9・23	9・23
	11月	1・15	13・27	13・27	13・27
	12月	6・20	11・25	11・25	11・25

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会 (KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター（キックス）3 階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

日本を目指して ～ベトナム人学習者に聞く～



最近アジアの国々から仕事を求めて来日する人々が急増している。ベトナムからの労働者も多く、昨今日本語サロンでもその傾向が顕著になっている。河内長野市では平成 27 (2015) 年 3 月末の在留外国人 518 人の内ベトナム国籍は 15 人だったのが、平成 30 (2018) 年には 46 人に増加している。

そこでベトナム人学習者にインタビューして、日本に来た動機、来日後の仕事、日本の印象、将来のことなどを聞いた。

インタビューに応じてくれたのは、今年 3 月の日本語サロン・オープンデーで横笛の演奏をしてくれたグエン・ヴァン・トゥアン (Nguyen Van Tuan) さん。26 歳、男性、独身、「技術・人文知識・国際業務ビザ」を取得し、2018 年 3 月来日、河内長野市の機械・部品メーカーに勤務中である。

●日本に来た動機は何ですか？

ハノイ工科大学で機械設計を専攻し、卒業後国内の機械メーカーに約 1 年勤務しました。ベトナムには外資系企業や大企業も少なく、だんだん外国でいろいろな技術を学びたいと思うようになりました。テレビで見る日本の景色や食べ物文化などに魅かれ、海外企業を紹介・斡旋する団体の紹介で、ちょうど技術者を採用する目的でベトナム訪問中の現勤務先社長の面接試験を受け合格したので、5 か月ほど日本語の勉強をして日本にきました。

●日本での仕事はどうですか？

勤務先ではプログラミングを担当しています。ベトナム人も 15 名いて、仕事は面白いし、色々なことが学べるので満足しています。同僚には 5 年間勤務のベトナム人もいて、自分も取り敢えず 5 年は頑張るつもりです。

●日本の印象はいかがですか？

日本では何でもスピーディーです。歩くのも速いです。仕事も速いけど、品質は良いし失敗もめったにありません。電車もバスも時間通りで回数も多いのにびっくりしました。朝晩は自炊していますが、買い物もスーパーやコンビニなど品数も多くてあまり高価でもなくとても便利です。

●将来について聞かせてください

1 年半日本に住んでいますが、日本滞在は私にとって大切な経験になるだろうと思います。ベトナムは生まれた所ですからいつでもいい大切な故郷です。そのベトナムが第 2 の日本になることを願って、ベトナムの未来を建築するために、エンジニアとして日本で一つ一つレンガを積んでいるところです。

インタビュー回答：グエン・ヴァン・トゥアンさん (ベトナム)

■カーメル市と姉妹都市提携 25 周年！

1994 年 4 月 8 日にアメリカ合衆国インディアナ州カーメル市と河内長野市の間で姉妹都市提携の調印が行われました。今年はその 25 周年を記念して、毎年 9 月にカーメル市で開催される「カーメル国際アートフェスティバル」に、KIFA から訪問団を派遣し、先方の姉妹都市委員会や市の関係者と今までの活動を振り返り、また今後について意見交換をする予定になっています。

また、市内では、毎年、カーメルと河内長野の子ども絵画展をおこなっています。これは 25 年前から続いている交流事業の一環です。また、12 月 1 日の「World Potluck 世界ごった煮」でも、姉妹都市カーメルをもっとよく知っていただく企画を予定しています。

FRIENDSHIP FOREVER



上：カーメルの街角
左：河内長野市役所での「姉妹都市子ども絵画展」

編



いつの間にか、セミの声も遠くなり、そろそろ虫の音にボタンタッチです。やっと酷暑もおしまいですね。世の中は 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックや 2025 年の大阪・関西万博の話で盛り上がっています。河内長野市が「日本遺産」に認定されました。来日する外国人から見た日本の魅力のひとつが、「安全」だそうです。それに加え、河内長野市には美しい自然が残っています。それに魅かれて河内長野に住まれている外国の方も多いようです。日韓関係がぎくしゃくしていてちょっと心配ですが、恵まれた環境の中で、習慣や言葉、考え方の違う日本人と外国人がお互いを理解し、尊重して豊かな生活をしていくのが、私たちのできる小さな国際友好ではないでしょうか。

集

後

記



isshie

無料
メールマガジン
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報を
いち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFA
ホームページから

<http://www.kifa-web.jp/>

